

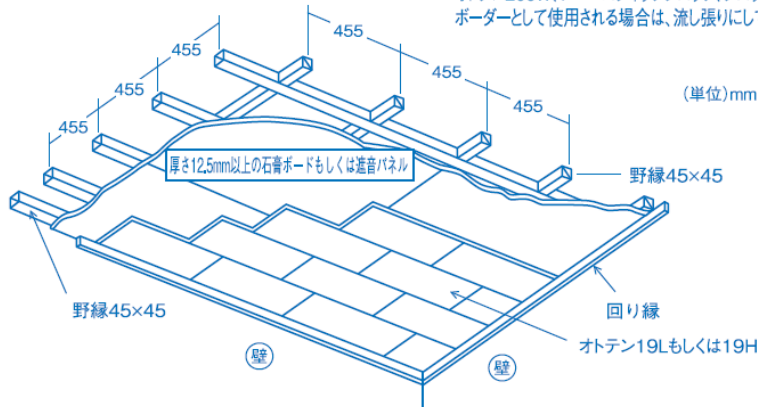
## ロックウール吸音板の取扱い上の注意

- 労働衛生の予防措置として以下のことに留意してください。
- ① 切断等の加工はカッターナイフ等の手動工具で行ってください。
  - ② 必要に応じて防じんマスク、保護手袋・眼鏡を着用してください。
  - ③ 粉じんの飛散に留意しながら取扱ってください。
  - ④ 取扱い後は、うがい及び、手洗いを励行してください。
  - ⑤ 廃棄する場合はロックウール吸音板と裏面遮音シートをはがし、ロックウール吸音板は「ガラスくず及び陶磁器くず」遮音シートは「廃プラスチック類」として処理してください。

## 施工法

■厚さ12.5mm以上の石膏ボードもしくは遮音パネルを捨て張りしてください。

オトテン200W、アコースティックブロック、ブロックシュガーのボードとして使用される場合は、流し張りしてください。

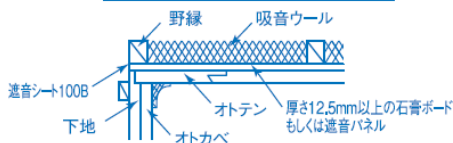


### ■使用上のご注意事項

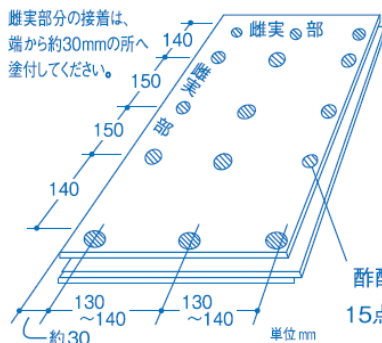
必ず接着剤とステーブルを併用してください。

- 釘打機、エアネイラを使用される際はエアドレーンを十分抜いてください。エアドレーンが天井材に付着しますとシミとして残ります。
- 「オトテン」は遮音シートと一体化しているため、遮音パネル12.5と石膏ボード12.5mmを併用すると重量は約30kg/m<sup>2</sup>になります。吊木の間隔と強度を確認してください。
- 壁との取り合い部など隙間のある箇所は、遮音シート100B (GB03016) で隙間をふさいでください。
- 捨て張りの継目と「オトテン」の継目が重ならないようにしてください。
- 浴室など湿気の多い所への施工は避けてください。
- 湿気の少ない所へ保管してください。
- 表面汚れ防止のため、手洗いまたは手袋着用後、施工してください。

### 天井と壁の納まり例



### 接着剤の塗布



酢酸ビニル樹脂系接着剤

15点/枚 点状塗布します。標準使用量30~40g/枚

施工には、下記ステーブルを使用してください。

釘打ちは実を痛めますので、避けてください。

|              |  |   |
|--------------|--|---|
| 釘打機<br>(推奨機) | ● 手動タイプ<br>MAX ガンタック<br>TG-A(N)            | ● エアタイプ<br>MAX 釘打機 エアネイラ<br>(ステーブル幅10mm対応用) |
|              | 肩幅 12mm<br>足長 13mm<br>(推奨品)<br>MAX T3-13MB | 肩幅 10mm<br>足長 13mm<br>(推奨品)<br>MAX 1013J-S  |
| ステーブル        | 12本/枚 以上                                   |   |
| ステーブル本数      | 表面   |   |